

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

南支社	☎557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪	06(652)0001
北支社	☎532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪	06(301)1251
南部支社	☎590	堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺	0722(38)1131
北部支社	☎589	高槻市藤の里町39-6	☎高槻	0726(71)0361
阪神支社	☎062	西宮市和上町4番11号	☎西宮	0798(26)3101
東部支社	☎578	東大阪市福菜2丁目3番17号	☎河内	0729(62)1131
京阪支社	☎573	枚方市西田町16番17号	☎枚方	0720(41)1251
神戸支社	☎650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸	078(576)6231
京都支社	☎604	京都市中京区烏丸御池梅屋町35B	☎京都	075(231)8151
奈良支社	☎631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良	0742(44)1111
和歌山支社	☎640	和歌山市本町1丁目5	☎和歌山	0734(31)2481
姫路支社	☎670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫路	0792(85)2221
東播支社	☎475	加古川市加古川町粟津29-1	☎加古川	0794(21)1801
豊岡支社	☎668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡	0796(29)2221
湖南支社	☎625	草津市追分町字荒塚680の1	☎草津	0775(62)5311
彦根支社	☎522	彦根市大東町12番11号	☎彦根	0749(22)3131
(長浜営業所)	☎526	長浜市南兵衛町3番4号	☎長浜	0749(62)7171
本社ガスビルサービスセンター	☎541	大阪市中央区平野町4丁目1番2号	☎大阪	06(202)2221

大阪ガス株式会社

「おねがい」

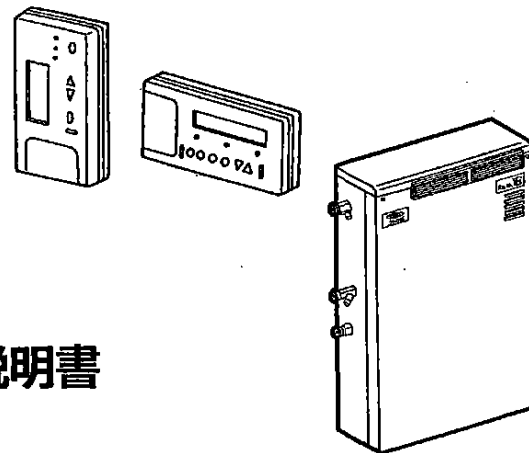
ガスくさいときは、ガス元せんを開め、窓を全開にして(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。

屋外設置型 (BL認定品)
〈セントラル給湯機能付き〉

ガス風呂釜

31-045型

型式名 TP-FQ160AZR-1



取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。なお、
ご不明な点があればお買い求めの販売店
にお問い合わせください。

大阪ガス

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス風呂釜（セントラル給湯機能付）をお求めいただき、ありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

●ごあいさつ・もくじ	1
●特長・機能の紹介	2
●必ずお守りください	4
●各部の名まえと扱い	6
●初めてお使いいただくときに	11
●使用方法	12
●点検・お手入れ	31
●故障かな?と思ったら	33
●寸法図	36
●仕様	37
●保管とアフターサービス	38

特長・機能の紹介

■給湯も風呂沸かしもこれ1台でOKです。

16号給湯器と風呂釜を一体にした1台で2役のガスセントラル給湯機能付風呂釜です。



■スイッチ、ポンでお風呂の沸き上げができます。

(18ページをごらんください)

ふたをして「自動」スイッチを押せば、あらかじめセットしておいた湯温、湯量で沸きあげます。お湯の入れ過ぎ、沸かし過ぎがありません。



■上下の温度差がありません。

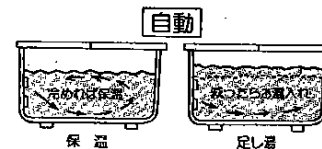
浴そうのお湯はポンプによって循環しているので均一に沸き上がり、かきまわす必要がありません。



■湯温と湯量のみはりは器具におまかせ。

(21ページをごらんください)

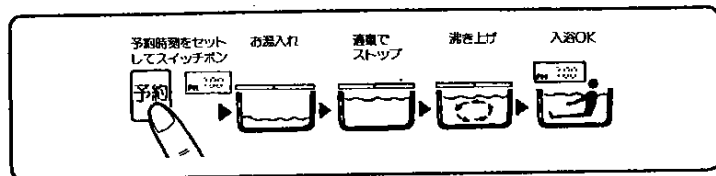
「自動」スイッチを押しておけば、4時間以内ならお湯が冷めれば自動で保温、お湯が減れば自動で足します。たとえばお子様と御主人の入浴時刻があいいても、湯かげんを気にせず、すぐに入浴できます。



特長・機能の紹介

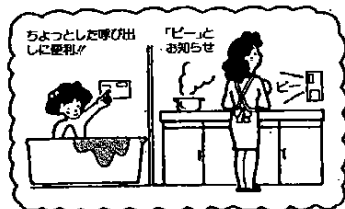
- お好きな時刻にお風呂に入れる予約タイマーがついています。

(25ページをごらんください。)



- 風呂コントローラ・メインコントローラには時計機能がついています。入浴中でも時刻がわかって便利です。

- メインコントローラにはブザーが付いていますので、お風呂の沸き上げ完了のお知らせや、浴室から台所への呼び出しができます。



自動沸き上げが完了したときもピー、ピーと鳴ります。

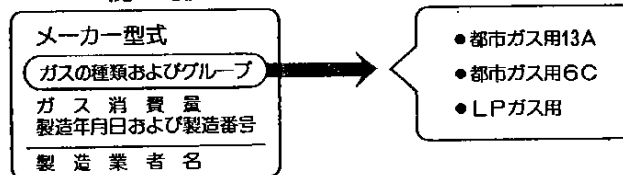
必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

■使用ガスについてのご注意

- 器具側面の銘板に表示されているガス（ガスグループ）以外のガスでは使用しないでください。

(銘板)



- ガスの種類には、都市ガスとLPガスがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

■使用電源についてのご注意

- 銘板に表示してある電源（電圧・周波数）以外の電源では使用しないでください。この器具はAC100V、60Hz用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

■用途についてのご注意

- 台所・シャワー・洗面などの給湯、およびお風呂沸かし以外の用途には使用しないでください。

■器具設置についてのご注意

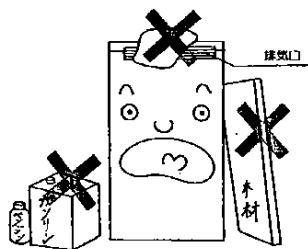
- 器具の設置・工事はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

必ずお守りください

■使用上のご注意

■火災予防

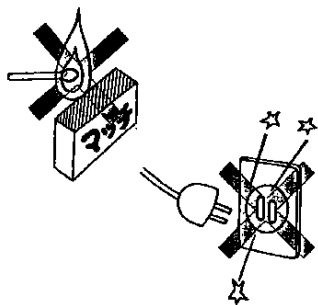
- 器具の上や、周囲には燃えやすいものを置かないでください。また、近くで揮発性の薬品等を使用しないでください。特に排気口は洗たく物などでおおわないでください。



■ガス事故防止

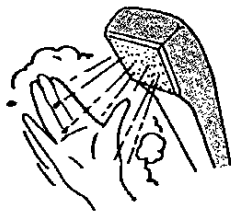
- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガスセッパンをしめ、お買い求めの販売店、または、大阪ガス支社にご連絡ください。

(注) 係員が処置するまでは、絶対に火をつけたり、電源プラグの抜き差しや、近くの電気器具の「入・切」をしないでください。



■やけどのご注意

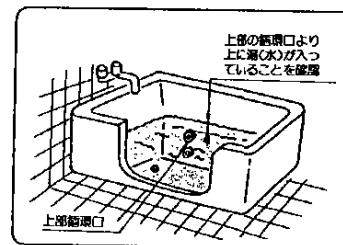
- 使用中および消火直後は、排気口やその周囲が高温になっていますので、絶対に手をふれないでください。
- シャワーを使用されるときは、手で湯温を確認してからお使いください。



必ずお守りください

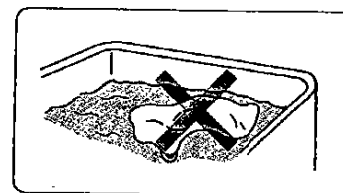
■空焚き防止

- 「わかす」スイッチを押すときはかならず浴そうの上部の循環口より上に湯(水)が入っていることを確かめてください。



■入浴時のご注意

- 浴そうの循環口をタオル等でふさぐと循環不良となりますのでおやめください。



■凍結についてのご注意

- 冬期には器具内の水が凍って器具が破損することがありますので凍結のおそれのあるときは28ページの「凍結予防方法」にしたがって処置をしてください。

■凍結したとき

- 器具や配管が破損しますと高額な修理費がかかります。(有料)
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具及び配管から水漏れがないことを確認後、11ページ「初めてお使いいただくときに」の項以下の操作を行なってください。

■異常時の処置

- 万一、ご使用中にふだんと違った状態になったときや、地震・火災の場合、すぐ使用をやめて運転スイッチを切り、ガス元せん・給水元せんを閉めてください。(33ページ「故障かな?と思ったら」にしたがって処置を行なってください。)

■水の使用についてのご注意

- 器具内に長時間たまった水は飲用や調理には用いないでください。

必ずお守りください

■雷が発生しているときのご注意

- 激しい雷により、一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。電源プラグをコンセントから抜きまらずと損傷を防止できます。
- 5分以上電源プラグをコンセントから抜いた場合はコントローラのセットをしなおし、再使用時にコントローラの表示を確認してください。

■雷が鳴った後、器具が作動しないとき

- 落雷の際、お湯が出なくなった場合は器具内の漏電リレーが作動したことが考えられます。このようなときには、電源プラグを1度コンセントから抜き、再度差しこんでください。それでも使用できないときはお求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

■停電時や電源プラグを抜いたとき

- この器具は停電時には使用できません。
- 停電時は給湯せんを閉めてください。
- 再通電したときは、コントローラのふる温度表示・給湯温度表示・現時刻・予約時刻を確認してください。
(5分以上の停電のときは再セットが必要です。)

■日常の点検・手入れ

- 日常の点検、手入れをしてください。(詳しくは31ページをごらんください。)
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。
- このとき、ご自分で修理なさらずお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

■入浴剤や洗剤についてのご注意

- 硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、性能の低下および熱交換器が腐食する原因となりますので入浴剤や洗剤の成分や説明文を確かめてからお使いください。

各部のなまえと扱いかた

■メインコントローラ

(注) ●コントローラの画面表示は説明のため、実際の運転状態を示すものではありません。

優先表示
優先を表示しているときは、給湯の温度が変更されます。
優先表示にするときは浴室のコントローラの優先スイッチを押します。

給湯表示
給湯のセット温度であることを示しています。(運転ランプと同時に表示します)

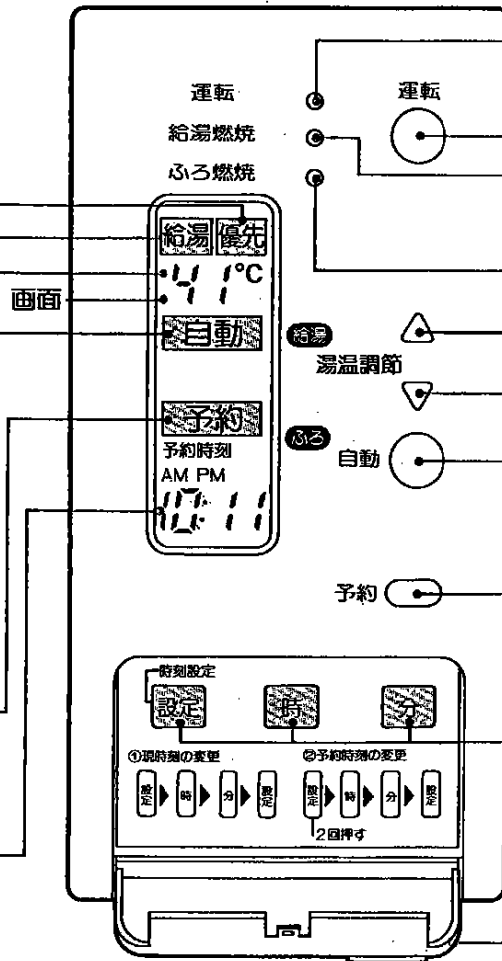
給湯温度表示
給湯のセット温度を表示します。

自動表示
自動スイッチがONのときに表示します。

予約表示
予約スイッチがONのときに表示します。

現時刻表示
現時刻を表示します。

予約時刻表示(切替)
予約スイッチをONした時、3秒間、風呂の沸き上がる時刻を表示します。



運転ランプ
運転スイッチ「入」のとき点灯します。

運転スイッチ(桃色)
操作するとき、最初に「入」にします。(運転ランプ点灯)

給湯燃焼ランプ
給湯燃焼中に点灯します。

風呂燃焼ランプ
風呂燃焼中に点灯します。

給湯温度調節スイッチ
給湯温度を調節するときを押します。(13~17ページ参照)

自動スイッチ(青)
風呂の自動運転をするときに使用します。ONにするとセットした温度・量に自動で沸き上がります。(18~22ページ参照)

予約スイッチ
風呂の沸き上がり時刻を予約するときに使用します。(25~27ページ参照)

時刻変更スイッチ
現時刻および予約時刻のセットに使用します。(12ページ参照)

扉
予約時刻のセット・現時刻のセットのときに開きます。

※メインコントローラにはブザーが内蔵されています。

●自動で風呂が沸き上がったとき

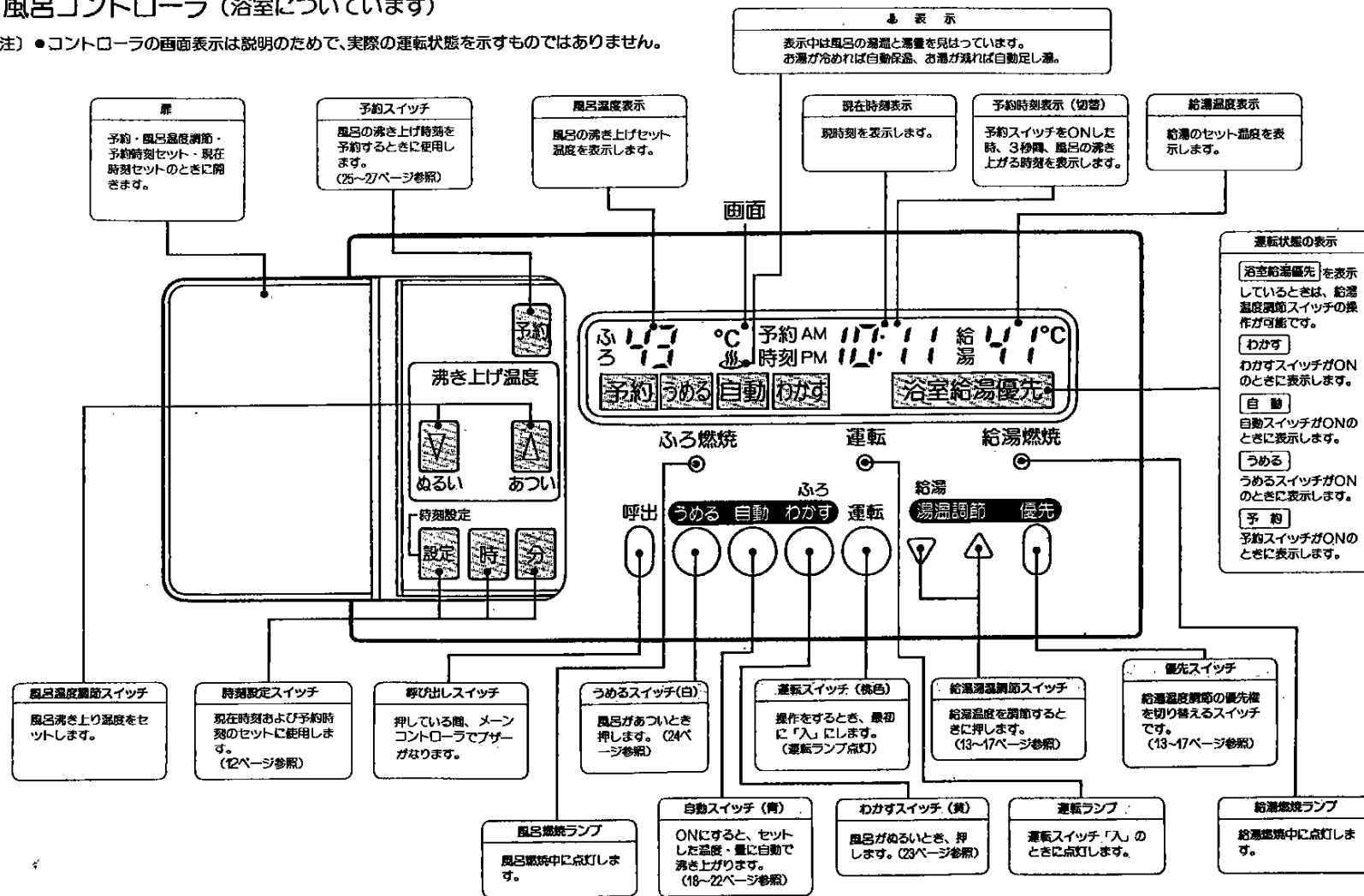
「ビッ、ビー」と8回なります。

●お風呂で呼び出しスイッチを押したとき。

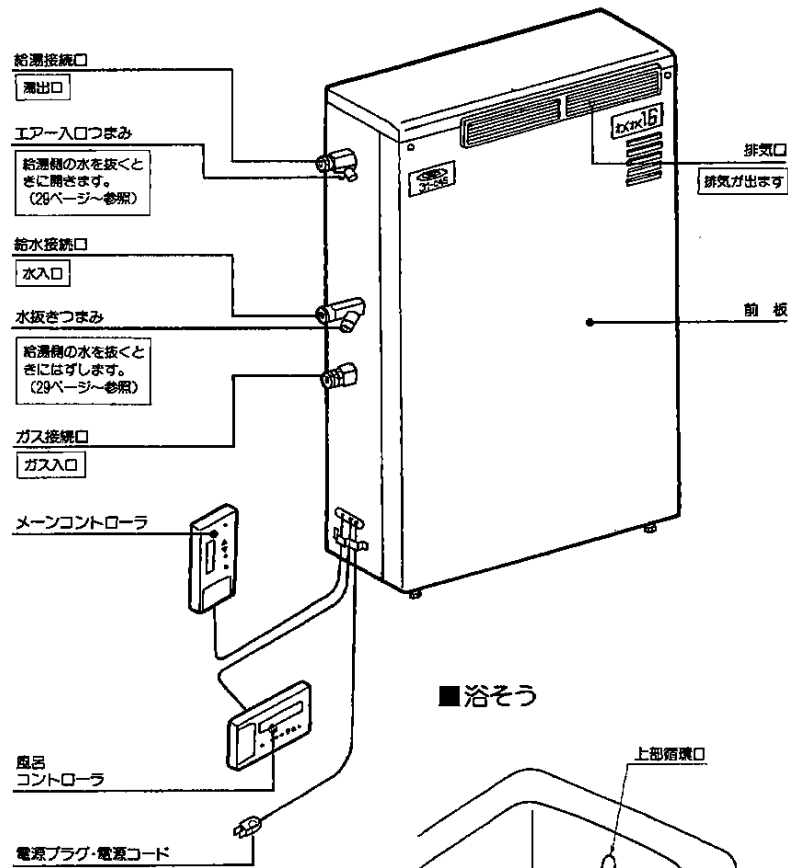
「ビー」と呼び出しスイッチを押している間続きます。

■風呂コントローラ (浴室について)

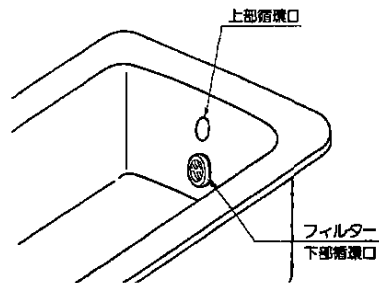
(注) ●コントローラの画面表示は説明のため、実際の運転状態を示すものではありません。



各部のなまえと扱いがた



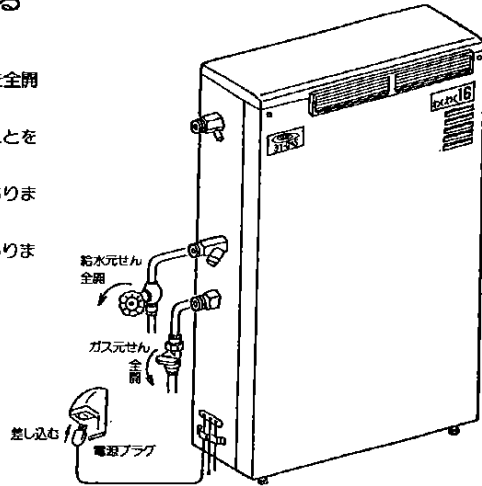
■ 浴そう



初めてお使いいただくときに

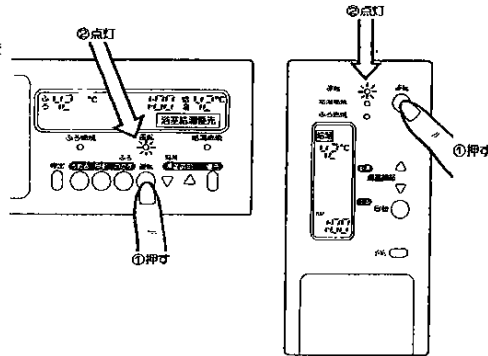
1 初めてお使いになるときはまず……

- (1)給水元せん（器具の側面）を全開にします。
- (2)給湯せんを開け、水の出ることを確認してから閉めます。
- (3)ガス元せん（器具の側方にあります）を全開にします。
- (4)電源プラグ（器具の周辺にあります）を差し込みます。



2 運転スイッチを押し「入」にします。

- 運転ランプが点灯します。
- 表示画面は図のように表示します。

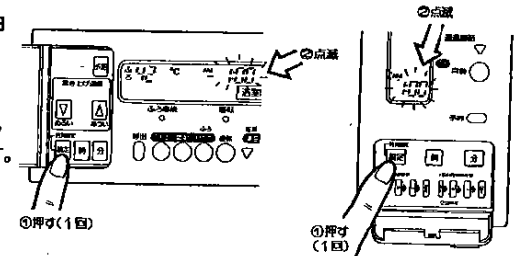


●お買い上げいただいた時には、お湯の温度は42℃に設定してあります。

使用方法 現在時刻の合わせかた

1 設定スイッチを押します。

- (1)コントローラの扉を開きます。
 - (2)設定スイッチを1回押します。
- 現時刻表示が点滅します。



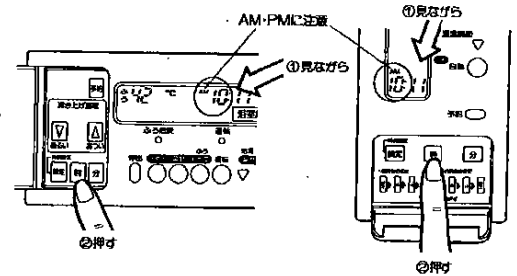
ご注意

●メインコントローラと風呂コントローラの時計はそれぞれ独立して動きます。（メインコントローラの時計と風呂コントローラの時計は運動しません。）
両方のコントローラの時計合わせをしてください。

2 現在時刻を合わせます。

（例えば午前10時11分に合わせます。）

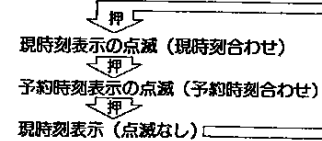
- (1)現時刻表示を見ながら時スイッチを押し、AM10に合わせます。
 - (2)現時刻表示を見ながら分スイッチを押し、AM10:11に合わせます。
 - (3)もう2回設定スイッチを押します。
 - (4)扉を閉じます。
- 現時刻表示の点滅が止まります。



- AM(午前)・PM(午後)に注意して押してください。
- 時分スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

設定スイッチについて

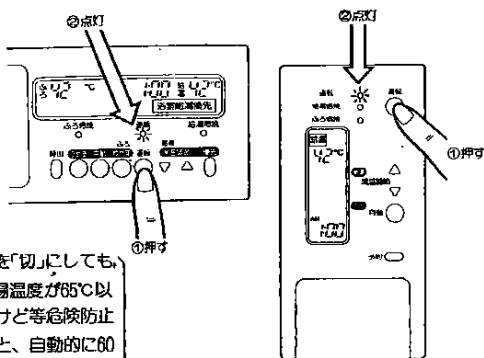
設定スイッチを1回押すごとに右図のように変化します。



使用方法・給湯シャワー

1 運転ランプが点灯していることを確かめます。

(1)「運転ランプ」が点灯していない場合は、「運転スイッチ(桃色)」を押します。
 (2)「運転ランプ」が点灯します。



●通常給湯温度は運転スイッチを「切」にしても、メモリーされていますが、給湯温度が65℃以上に設定されていた場合はやけど等危険防止のため運転スイッチを入ると、自動的に60℃に設定されます。

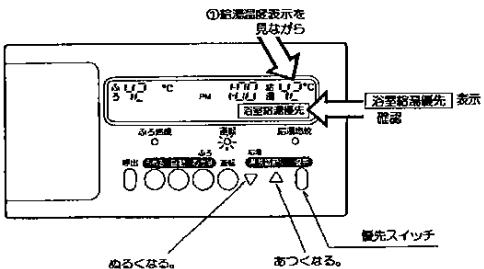
2 給湯温度調節をします。

●浴室で湯温調節をしたいとき

(1)風呂コントローラの「浴室給湯優先」表示を確認します。

(2)給湯温度をお好みの温度にセットします。

●「浴室給湯優先」が表示されていない場合は「優先スイッチ」を押します。
 ●「浴室給湯優先」が表示されます。



△を押すと1段階ずつあつくなります。
 ▽を押すと1段階ずつぬるくなります。

●温度の調節は最低温度が35℃、38℃～44℃は一度押すと1℃ずつ、それ以上は47・50・55・60・65・70・73℃の表示がでます。
 ●温度の表示は目安です。

使用方法・給湯シャワー

●台所で湯温の調節をしたとき。

(1)メインコントローラの「優先」表示を確認します。

●「優先」が表示されていない場合は、メインコントローラの「運転スイッチ(桃色)」を一度押して切にしてもう一度「運転スイッチ(桃色)」を入にします。

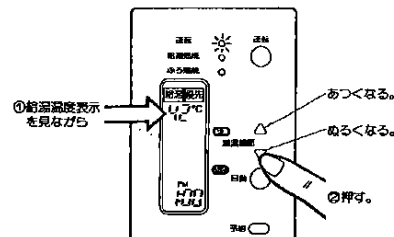
●風呂コントローラの「浴室給湯優先」表示が消えてメインコントローラでは「優先」が表示されます。

ご注意

●シャワー使用中に優先を変更するとシャワーの温度が急に変わって危険ですので、シャワー使用中は優先を変更しないでください。

(2)給湯温度をお好みの温度にセットします。

●給湯温度表示を見ながら「給湯温度調節スイッチ」を押して湯温の調節をします。



●サーモキシング/バルブをお使いの場合や、混合水せんで水と混ぜて使用する場合はコントローラの湯温セットは60℃近辺が適当です。
 ●水と混ぜないで給湯せんだけを開けて使用する場合は42℃近辺が適当です。

ご注意

●浴室でシャワーを使用するときは風呂コントローラに「浴室給湯優先」を表示させて給湯温度表示を確認してください。風呂コントローラに「浴室給湯優先」が表示されているときはメインコントローラで、給湯温度の変更ができません。
 ●表示している温度と給湯せんから出る温度は配管の長さや外気温等により、必ずしも一致しません。目安としてお使いください。
 ●シャワーを使用しているときは、メインコントローラで給湯温度を変更しないでください。シャワーの温度が急に変わって危険です。

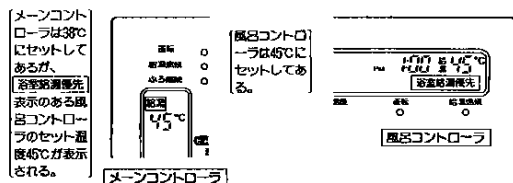
使用方法:給湯・シャワー

●優先の切替について

A 風呂コントローラに
「浴室給湯優先」が表示されている場合。

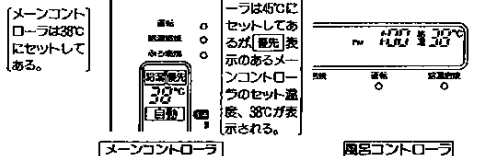
●それぞれのコントローラの温度表示は「給湯優先」が表示されているコントローラ側の給湯温度を示します。

(たとえばメインコントローラで38℃、風呂コントローラで45℃にセット)



- 風呂コントローラに「浴室給湯優先」があるのでメインコントローラ側も45℃表示となり、出湯温度も約45℃となります。この場合、給湯温度は風呂コントローラで変更できます。
- メインコントローラの運転スイッチを一度「切」にして、もう一度「入」にすると次のBに変わります。

B メインコントローラに
「優先」が表示されている場合。

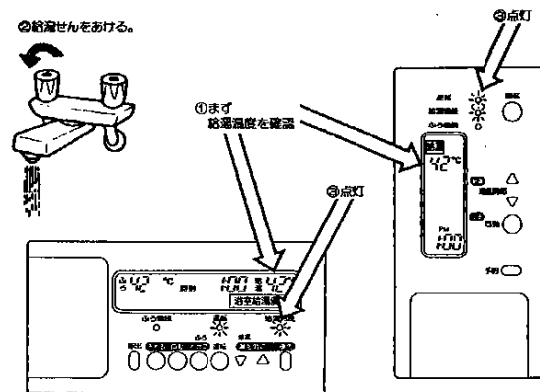


- 「給湯優先」がメインコントローラに表示され、メインコントローラのセット温度38℃が両方のリモコンに表示され、出湯温度も約38℃に変わります。この場合、給湯温度はメインコントローラで変更できます。
- 風呂コントローラの「優先スイッチ」を押すとAにもどります。

使用方法:給湯・シャワー

3 給湯せんを開けます。

●点火すると「給湯燃焼ランプ」が点灯し、しばらくしてお湯が出ます。

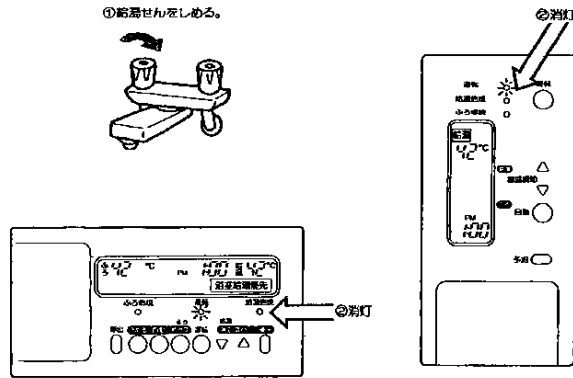


ご注意

- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯は出ません。(配管長さにより、お湯が出るまでの時間が異なります。)
- 温度表示を確認して出湯してください。セットしてある温度が高温になっている場合もありますのでやけどに、ご注意ください。
- シャワーをお使いのときは、いきなり体や頭にかけず、手で湯温を確認してからお使いください。シャワーをお使いになってお湯を止めた直後、再度お使いになるときや、湯量を急に少なくしたときには湯温が不安定になることがあります。(一瞬、熱いお湯が出る場合があります。)
- 2箇所を同時使用しますと、湯量や湯温が変化することがあります。
- 出湯停止後すぐに再出湯したときは、一度湯温が下がる場合があります。
- 給湯せんを絞りすぎると(約2.5ℓ/分以下)熱いお湯が出たり、消火することがあります。
- 夏期水温が30℃近くになると、低温にセットしても給湯せんから出るお湯の量が少い場合には湯温が熱くなります。このような場合には給湯せんをさらに開けて湯量を多く出すが、水と混合してお使いください。

4 給湯せんを閉めます。

- お湯が止まると「給湯燃焼ランプ」が消灯します。
(他の給湯せんで使用中心だったり、自動で浴そうにお湯を入れているときは消灯しません)



- 給湯せんを閉めても器具の燃焼用のファンモーターがしばらく回転しますが、故障ではありません。

ご注意

- 給湯温度はコントローラが表示している温度（目安）になります。しばらくしてお使いのときはセット温度がお好みの給湯温度になっているか確認してから、お使いください。
- 停電や電源プラグを抜いたことにより、5分以上通電が止まった後、再通電したときは給湯温度表示が42℃となります。再度、セットしなおしてください。

風呂自動運転とは



- 排水せんをして⇒ふたをする / あとは自動スイッチを押すだけ。
次の動作を器具が自動で行ないます。



- お湯の入れ過ぎや沸し過ぎがなく、上下均一に沸き上がります。

1 運転前の準備をします。

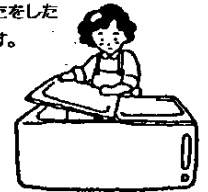
(1)排水せんをします。

- お風呂を沸かす前に必ず、排水せんをしてください。
[排水せんをしわすれた場合は自動運転を開始してから約60分後に自動的に運転が停止します。]



浴そうにふたをします。

- この器具は浴そうにふたをしたままお湯張りができます。




使用方法:風呂自動運転


2 運転ランプが点灯していることを確かめます。

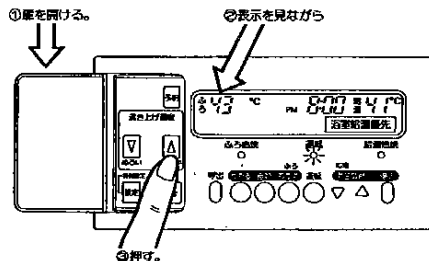
- 「運転ランプ」が点灯していない場合は、「運転スイッチ(桃色)」を押します。
- 「運転ランプ」が点灯します。

3 風呂コントローラで、お風呂の温度をセットします。

- お買い上げいただいたときには、沸き上げ温度を42℃にセットしてあります。
- (1)入浴温度が42℃で適温の方はそのままにします。
- (2)入浴温度を変えるときは、風呂コントローラの扉を開けて、表示画面の風呂沸き上げ温度を見ながら「風呂温度調節スイッチ」を押します。

 を押すと1段階ずつあつくなります。

 を押すと1段階ずつぬるくなります。



- 設定温度は37℃～39℃は1℃きざみ、40℃～45℃は0.5℃きざみ、46℃～48℃までは1℃ずつ変化します。(温度表示は目安です。)

お湯の温度には個人差があります。この表はだいたいの目安です。



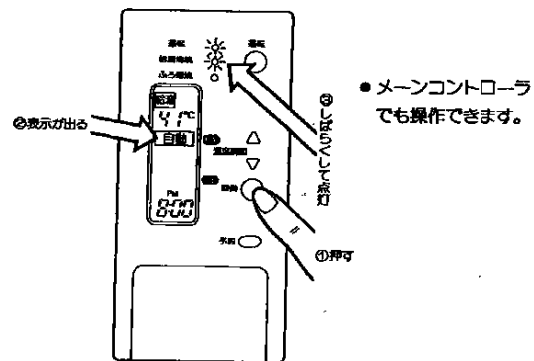
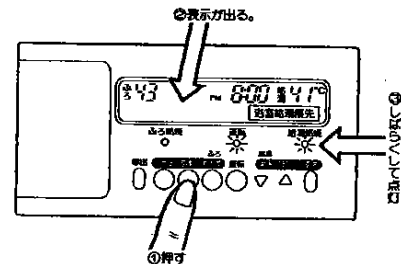
ご注意

- メインコントローラではセットできません。
- 表示する温度とお風呂の沸き上がり温度はかならずしも一致しません。目安としてお使いください。
- お風呂へのお湯はり水位を変更したい場合は、お買い求めの販売店または大阪ガス社へご連絡ください。

使用方法:風呂自動運転

4 自動スイッチ(青)を押します。

(1「自動スイッチ(青)」を押すと、画面に「自動」が表示され、しばらくして、お風呂の循環口からお湯が出てきます。このとき「給湯燃焼ランプ」が点灯します。

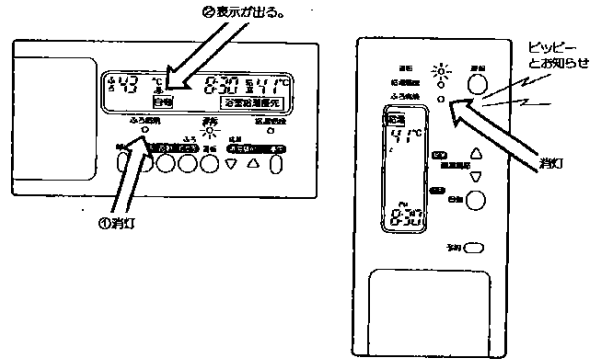


(2)お風呂のセット水位までお湯張りしますと自動的に循環口から出ているお湯が止まり、「給湯燃焼ランプ」が消灯し、その後、お風呂のお湯を循環して沸かしあげます。このとき「風呂燃焼ランプ」が点灯します。

使用方法・風呂自動運転

5 お風呂が沸くと自動でストップします。

- 風呂セット温度まで沸き上がりますと「風呂燃焼ランプ」が点灯します。それと同時に風呂コントローラに♂が表示され、メインコントローラのアザーが鳴り、沸き上がったことを知らせます。♂を表示しているときは、風呂の湯温と湯量を器具が見ています。



6 自動的に約4時間湯量と湯温を保ちます。

(自動)と♂はそのまま表示

- この間は30分ごとにポンプが回り、湯温を検知し、約1℃湯温が下がっていると自動的にセット温度まで沸かし上げ保温します。
(とまどき「風呂燃焼ランプ」が点灯します。)
また湯量がセット水位より約5cm減ると自動的に循環口からお湯がでて、セット水位まで足し湯します。
- 約4時間経過すると(自動)と♂の表示が消えます。

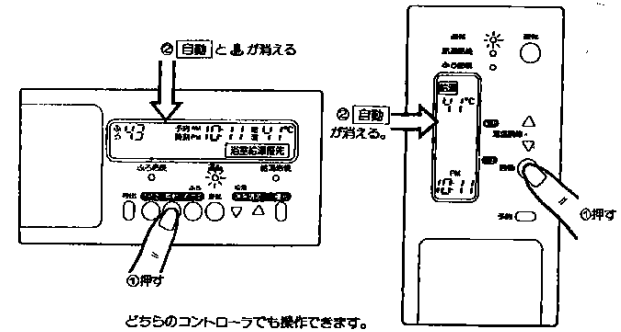
ご注意

- 自動運転のお湯張り中に台所等でお湯を使うと、風呂沸き上げ温度のお湯が出ます。
- 自動運転中でも給湯の湯温表示の変更はできません。
- 自動運転終了時にオーバーフローから湯が出る場合がありますが故障ではありません。

使用方法・風呂自動運転

7 自動運転停止、保温・足し湯運転

1. 自動運転を途中で止めたいときは、再度「自動スイッチ(青)」を押します。
2. 保温・足し湯運転を途中で止めたいときも、再度「自動スイッチ(青)」を押します。



8 沸かし直し

- 前日までの残り湯を沸かし直したいときは、「風呂自動運転」とまったく同じ手順で行いません。
セット水位より湯量が減っている場合は、セットした水位まで足し湯したうえでセット温度に沸かしあげます。

使用方法 わかす (追いだし運転)

わかす運転とは

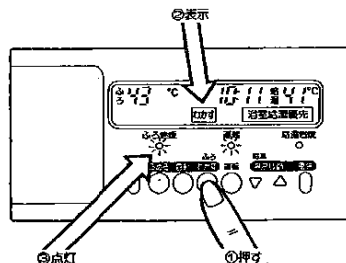
- 入浴時、お風呂のお湯がぬるくなって、もっと熱くしたい時に操作します。
- セット温度より約2℃熱く沸き上げて自動停止します。

ご注意

- 浴そうの循環口より上に湯(水)があるとき操作してください。空だきとなり器具が破損するおそれがあります。

- 1** 運転スイッチが入っていることと、風呂セット温度を確認してから「わかすスイッチ(黄)」を押します。

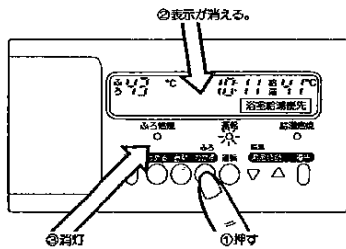
- 画面に「わかす」が表示され、しばらくして、風呂乾燥ランプが点灯します。



- 自動運転中(「自動」と表示)でも「わかすスイッチ」は使用できます。(自動運転(「自動」と表示)は継続されます。)

- 2** お好みの湯かげんになったら「わかすスイッチ(黄)」を押します

- 「わかす」表示が消え、「風呂乾燥ランプ」が消灯します。



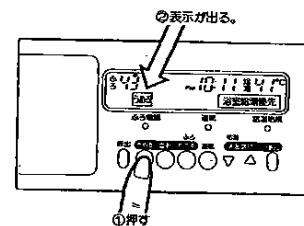
わかす運転停止の操作をしない場合は、風呂セット温度より約2℃熱く沸き上がると自動停止します。例えば上図のセット温度では45℃で自動停止します。

使用方法 うめる

うめる運転とは

- お風呂のお湯があつく、もっとぬるくしたい時に操作します。
- 約30秒間水を入れてから自動停止し、その後約1分間のかくはんを行いません。この操作によりお風呂がぬるくなります。
- もっとぬるくしたいときは、もう一度「うめるスイッチ」を押してください。

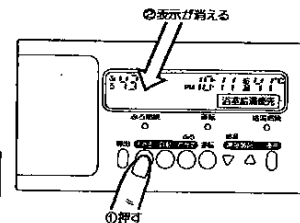
- 1** 「うめるスイッチ(白)」を押します。 ●画面に「うめる」が表示され、しばらくしてお風呂の循環口から水が出てきます。



ご注意

- 自動運転のお湯張り中(追いだし中)または浴所等でお湯を使っているときは「うめるスイッチ」は使用できません。
- 自動運転の保温中(「自動」と表示)は「うめるスイッチ」を使用できます。(保温(「自動」と表示)は継続します。)
- 「うめる」が表示されているときに給湯せんを開きますと、水が出てきます。(給湯乾燥はしません。)

- 2** お好みの湯かげんになったら「うめるスイッチ(白)」を押します。



- 「うめる」表示が消えます。

うめる停止の操作をしない場合は、約30秒間水を入れ続けてから自動停止し、その後1分間のかくはんを行いません。

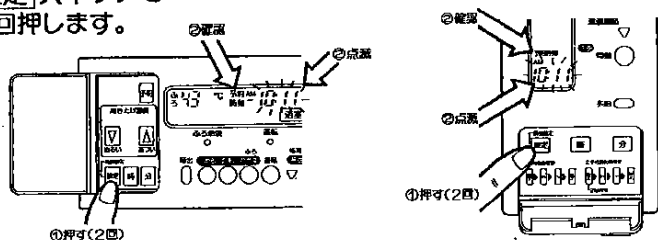
使用方法・風呂の予約時刻の合わせ方

ご注意

- 予約時刻は風呂コントローラ、メインコントローラおのれの独立してセットできます。
- 運転スイッチの入切に関係なくセットできます。
- コントローラの表示画面の現在時刻が合っているか確認してください。現在時刻が合っていない場合は2ページを見て合わせてください。
- 予約時刻は沸き上げが完了する時刻です。(簡易完了予約)

1 コントローラの扉を開け 設定スイッチを 2回押します。

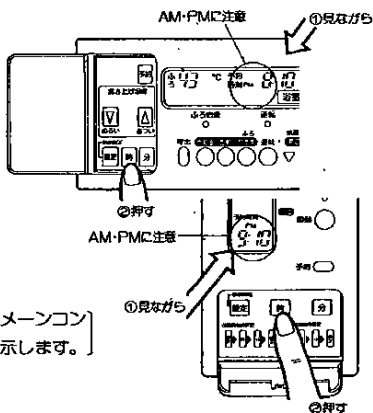
- 「予約時刻」が表示され、時計の数字が点滅します。



2 予約時刻をセット します。

- お風呂に入りたい時刻を予約時刻表示を見ながら「時」スイッチ・「分」スイッチを押して合わせます。
AM (午前)・PM (午後) に注意してください。
- 「時」・「分」スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

【図例は、風呂コントローラで午後8時10分、メインコントローラで午後9時10分にセットした状態を示します。】



3 もう1回「設定」ス イッチを押します。

- 現在時刻が表示されます。これで予約時刻がセットされました。

使用方法・風呂の予約運転

お風呂沸かし予約とは

- 予約時刻をセットしておけばその時刻に入浴できるよう、器具が自動でお風呂を沸かします。(どちらのコントローラでも予約できます)

ご注意 (予約スイッチを押す前に次のことを確認してください。)

- 浴そうの排水栓がしまっていることとふたをしてあることを確認してください。
- 現在時刻、予約時刻を確認してください。
- 風呂の温度設定を確認してください。

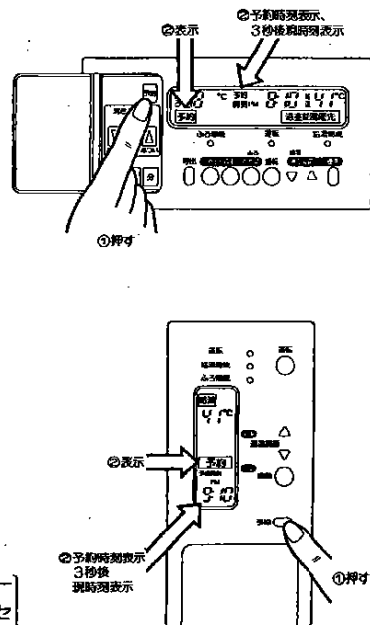
1 予約スイッチを押しま す。

- 「予約スイッチ」を押すと「予約」が表示されると同時に予約時刻が表示されますが予約時刻表示は3秒後には現時刻表示に変わります。

- 予約時刻は各コントローラにセットされていますが、予約スイッチを押した方のコントローラにセットしている時刻で予約運転を行いません。

- あとは予約時刻の約40分前から風呂自動運転が始まり、予約時刻にはお風呂に入れます。
- お湯張り完了後保温と足し湯動作が必要な場合は、自動スイッチを押してください。
- 「予約スイッチ」を押した後は運転スイッチを「切」にしても、予約運転をします。
このときは「予約」と現在時刻のみ表示されています。

【図例は風呂コントローラで午後8時10分、メインコントローラで午後9時10分に予約時刻をセットした状態を示します。】



使用方法・風呂の予約運転

■予約を取り消したいときは

- 「予約スイッチ」を押したあと、予約を取り消したいときは、もう一度「予約スイッチ」を押します。
「予約」の表示が消えます。
- すでに自動運転がはじまり、「自動」の表示がされているときは、「自動スイッチ」を押します。「自動」の表示が消えて運転が停止します。

■予約時刻を確認したいときは

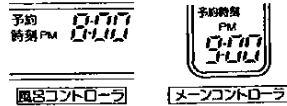
- 「設定」スイッチを2回押します。予約時刻表示が点滅しますので確認してください。

■予約時刻を変更したいときは

- 「お風呂沸かしの予約のしかた」と同じ操作で変更できます。

■風呂コントローラ・メインコントローラ、それぞれ違う予約時刻でセットした場合

- 「予約スイッチ」を押したコントローラにセットされている時刻で作動します。
- 風呂コントローラ・メインコントローラ両方のコントローラの予約スイッチを押した場合は、予約時刻の早い方が優先となり遅い時刻の方では作動しません。



図例では風呂コントローラでPM8:00、メインコントローラでPM9:00に予約時刻をセットした状態を示します。

- このとき①風呂コントローラの予約スイッチを押した場合はPM8:00に沸き上がります。
- ②メインコントローラの予約スイッチを押した場合はPM9:00に沸き上がります。
- ③両方のコントローラの予約スイッチを押した場合は、早い方の時間のPM8:00に沸き上がります。

ご注意

- セットした予約時刻は記憶されていますので入浴する時刻が決まっているときは予約時刻を毎日セットする必要はありません。
- 予約をセットした後、「わかずスイッチ」を押すと予約が解除されますのでご注意ください。
- 停電や電源プラグを抜いたことにより、5分以上通電が止まったあと、再通電したときは、現在時刻や予約時刻が、AM1:00となりますので、再セットが必要です。
12ページと25ページをごらんになり、セットしなおしてください。
- 予約した後5分以上の停電があると、予約が解除されます。(お風呂沸しをしません)

使用方法 凍結予防方法

冬季の凍結による破損予防の方法は

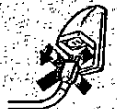
- 器具が凍結すると、給湯ができなばかりでなく水漏れ故障の原因になります。
- この器具の凍結予防方法は次の3つのケースでやり方が変わります。
 - ①通常するとき
 - ②冷え込みが厳しいとき(-15℃以下するとき)
 - ③長期不在のとき

■通常するとき

- この器具には、気温がさがってくると自動的に器具内を保温する凍結予防ヒーターがついています。通常は器具の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、器具内(給湯機)の凍結は、予防できます。
- 自動凍結予防装置は「運転スイッチ」の「入」・「切」に関係なく作動します。
- 浴そうの水は排水してください。

ご注意

- 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。抜けていると作動しませんので注意してください。



ご注意

- 凍結予防装置が凍結を予防できるのは外気温マイナス15℃程度までです。特に寒い時や急な寒波などが予想されるときは、はやめに「冷え込みが厳しいとき」「長期不在のとき」による凍結予防の処置を行ってください。
- 器具内の凍結は予防できても配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。

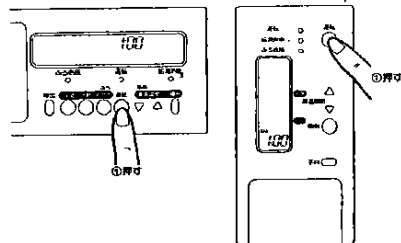
使用方法・凍結予防方法

② 冷え込みが厳しいとき

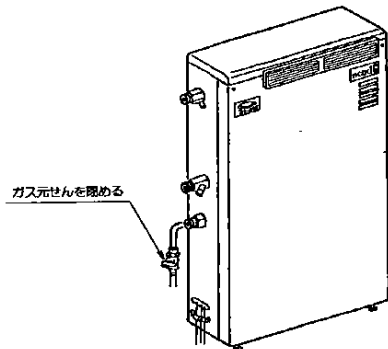
●この場合は、器具本体だけでなく給水給湯配管・バルブ類の凍結予防もできます。

■ 給湯側の凍結予防

①「運転スイッチ」を「切」にします。

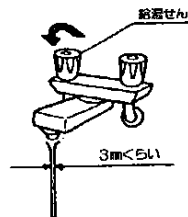


②ガス元せんを閉めます。



③浴室の給湯せんを開け、1分間に約200cc（牛乳ビン1本ぐらい）を流し続けます。

流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。



使用方法・凍結予防方法

③ 長期不在のとき（水抜き方法）

●長期不在等で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や電源プラグを抜く場合には、この水抜き凍結予防方法によります。次の手順でふる側の水抜きが完了後に電源を「切」にします。ふる側から先に水抜きを行いません。

■ ふる側

●浴そうの水を排水します。

■ 給湯側

①電源プラグを抜き、ガス元せんを閉じます。

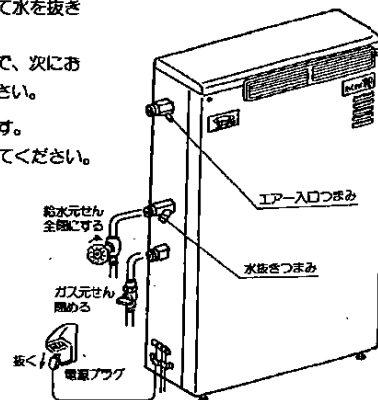
②給水元せんを閉じます。

③すべての給湯せんを全開にします。

④エア入口つまみ、水抜きつまみをはずして水を抜きす。

●以上の操作で器具内の水は排水されますので、次にお使いになるまでそのまましておいてください。

⑤器具を使用するときは逆の順序で行いません。給水元せんを開き、水漏れがないか確認してください。



凍結したときは

●凍結した場合、ガス元せん・給水元せんを開めてください。凍結したまま運転操作をしますと器具に異常が生じる場合があります。運転スイッチを「切」の状態で給湯せんを開けて水が出てくればご使用になれます。

●通水したら、一旦水漏れがないことを確認のうえ、ご使用ください。

●器具や配管が破損しますと高額の修理費用がかかる場合があります。（有料）

点検・お手入れ

●点検・手入れの際のご注意

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れを必ず行ってください。
- お手入れの前にはガス元栓を閉め、電源プラグを抜き、器具が冷えてから行なってください。
- 器具の前板をはずさないでください。(器具およびコントローラは絶対に分解しないでください。)

●点検

- 器具および配管より水漏れはありませんか。
- 運転中に器具から異常音が聞えますか。
- 器具の外観に異常は見られませんか。
- 器具のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか。
- 給湯釜の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。フィルターがつまりますと、お湯の量が少なくなり、点火しないことがあります。

(注) 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

●お手入れ

●本体が汚れたとき

布または、スポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけてふきとってください。
ベンジン、シンナーなどではふかないでください。

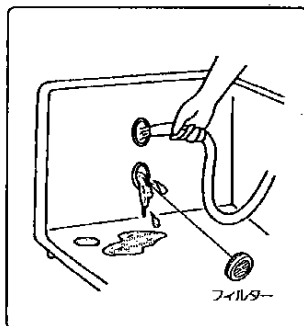
●コントローラが汚れたとき

水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとってください。
洗剤、ベンジン、シンナーなどではふかないでください。

(注) メーンコントローラには水をかけないでください。(風呂コントローラは防水タイプです。)

●風呂釜内の洗浄および浴そうフィルタのお手入れ

- 風呂釜内に湯あかがたまってくると、沸き上がり時間が長くなったり沸き上がる前に消火することがあります。
- 浴そう内の上部循環口の凝当りと下部循環口のフィルターカバーをはずしてから交互にホースで水を強く注ぎ、風呂釜内の湯あかを掃除してください。
- 浴そうの掃除をするときにいっしょに行なってください。
- フィルターは左に回してから手前に引けば外れます。
- フィルターの掃除も行なってください。

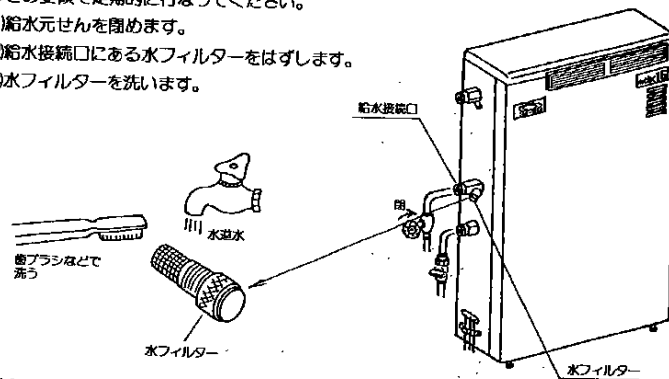


点検・お手入れ

●給水側水フィルターのお手入れは

つぎの要領で定期的に行なってください。

- (1)給水元栓を閉めます。
- (2)給水接続口にある水フィルターをはずします。
- (3)水フィルターを洗います。



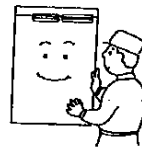
- (4)水フィルターをもとにもどします。

●点検・お手入れ後の確認

- 点検・お手入れの後は、ガス元栓を開いて、運転スイッチを「入」にして給湯栓を開き、器具が正常に作動していることを確認してください。
- 万一、異常な燃焼・臭気・異常音を感じられたときは、使用を中止し、ガス元栓を閉めてお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

●定期点検のおすすめ

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ふろがまが古くなると熱交換器やバーナにサビやスス、ほこり等がたまっていきます。また取り付け場所によりバーナに「くも」が巣をはることがあります。このような場合不完全燃焼を起すことがあり、ときどき使用中に異常(異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等)がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガスの元栓を閉めてお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。



故障かな?と思ったら

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止され、十分な点検をしてください。

こんなとき お調べいただきたいこと	運転ファンが点灯しない	給湯栓を開けても湯が出ない	使用中に水になる	高温の湯が出ない	低温の湯が出ない	使用中に湯温が極端に変動する	お湯を止めても給湯燃焼ランプが消えない	給湯燃焼ランプが点灯しない	風呂燃焼ランプが点灯しない	風呂が沸かない、また沸きがおそい	処置方法	参照ページ
電源プラグがはずれている	○	○						○	○		プラグをコンセントに差し込む	11
ガス元栓の開き不十分		○	○	○		○		○	○	○	ガス元栓を全開にする	11
給水元栓の開き不十分		○	○		○			○			給水元栓を全開にする	11
配管内に空気が残っている		○	○					○	○		点火操作を繰り返す	16
水ストレーナの詰まり		○	○		○			○			詰まりを除去する	32
断水している								○			給湯使用をいったん中止する	
凍結している		○						○			解凍するまで使用を中止する	30
給気口・バーナー炎口・熱交換器・ノズルの目づまり		○	○	○				○	○	○	点検を依頼する	32
安全装置が作動		○	○					○	○		点検を依頼する (度々作動する場合)	36
電気部品の故障	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	点検を依頼する	36
停電	○	○	○					○	○	○	再通電するまで待つ	11

●このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、ご自身で修理なさらないで買い求めの販売店またはお近くの大阪ガス支社へご連絡ください。

故障かな?と思ったら

次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理由
給湯せんを絞らずぎて水になった	この器具は流量が2.5ℓ/min以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとする、湯温が高くなります。給湯せんをもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違い、全く無害なものです。
寒い日排気部から白煙が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白煙となりますが故障ではありません。
うめる運転中にお湯が出ない	うめる運転中に給湯せんを開けてもバーナーに点火しませんので水が出ません。うめる運転が終了するまで、しばらく(約30秒)おまちください。(18ページ参照)
自動運転中に台所などでお湯を使うと、ぬるい(あつい)お湯が出る。	自動運転中は風呂温度表示のお湯が出ます。(16ページ参照)
蛇口を開いてもすぐお湯が出てこない	器具から蛇口までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため約3分間は回転しています。
運転終了後もしばらくポンプが回る	「うめる」「自動」「わかす」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
掃除後表示画面(液晶)が乱れる	コントローラをかわいた布で拭いた場合、液晶表示が乱れることがあります。この場合放置(30分以上)しておくと正常にもどります。
保温中ときどきポンプが回る	浴そうのお湯の温度を検知するため30分毎に回ります。

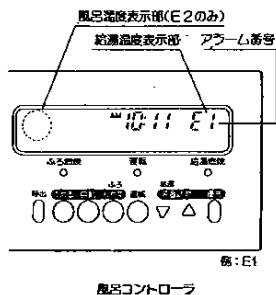
以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときは買い求めの販売店か、大阪ガス支社にご連絡ください。

故障がな?と思ったら

- この器具の風呂コントローラには自己診断機能がついています。
器具が故障すると給湯温度表示部または風呂温度表示部に下記のようにアラーム番号が表示されます。
下表のアラーム番号を確認して修理を依頼してください。

アラーム番号

運転ランプ 点滅	給湯温度表示部 風呂温度表示部 アラーム番号の点滅	故障箇所
○	E1	空焚スイッチ作動
-	E2	給湯サーミスタ断線 浴室サーミスタ断線
○	E4	電磁弁駆動回路の故障
○	E5	給湯側交換系統の故障
○	E6	風呂側交換系統の故障
○	E7	給湯ファン、風呂ファンまたは 風圧スイッチ系統の故障



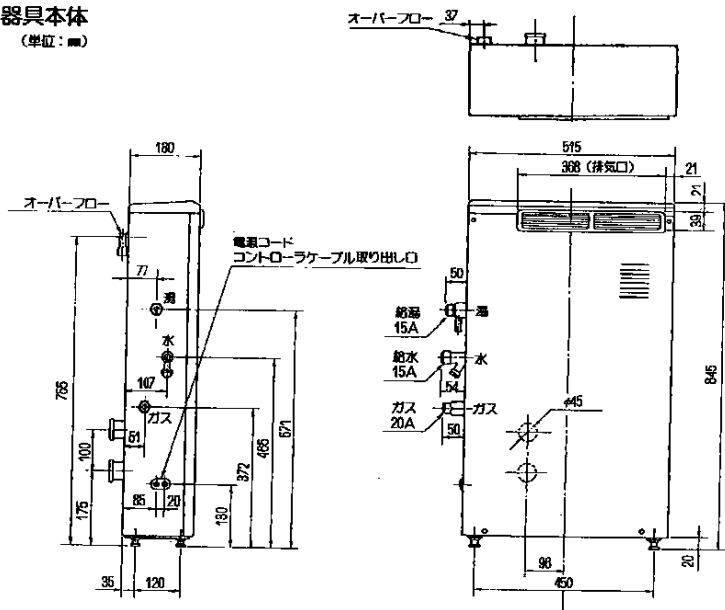
●安全装置の種類とその働き

- この器具には次の様な安全装置が組み込まれています。
- 立消え安全装置…バーナーが正常に燃焼しないと作動し、ガスを自動的にストップします。
…(E5またはE6が表示されます。)
- 空だき安全装置…風呂側熱交換器が空だきしたときに作動し、燃焼を自動的にストップします。
(E1が表示されます。)
- 過熱防止装置…器具内部の雰囲気温度が異常に高くなったとき、作動し燃焼を自動的にストップします。
(E5またはE6が表示されます。)
- 残火安全装置…熱交換器の温度が異常に高くなったとき作動し、燃焼を自動的にストップします。
(E1が表示されます。)
- 送風検知装置…燃焼用ファンモーターが正常に回転しないと作動し、燃焼を自動的にストップします。
(E7が表示されます。)
- 漏電安全装置…万一漏電した場合、電源を「OFF」にする装置です。
(コントローラの表示がすべて消えます。)
- 凍結予防装置…器具内の雰囲気温度が低下すると作動、器具内の凍結を防止します。

寸法図

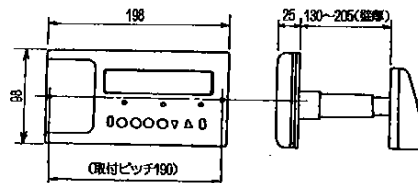
■器具本体

(単位：mm)



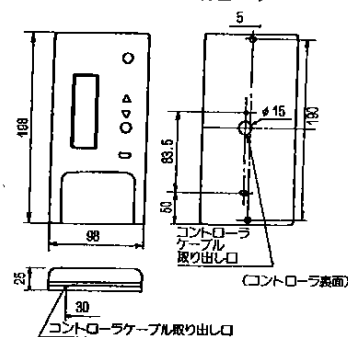
■風呂コントローラ

(単位：mm)



■メインコントローラ

(単位：mm)



仕様

品名	31-045型			
型式名	TP-FQ160AZR-1			
ガス種	都市ガス(13A 6C)	LPG		
外形寸法(mm)	幅515×奥行183×高さ845			
標準給湯側	給湯側	30,000kcal/h	2.5kg/h	
	追いだし側	10,000kcal/h	0.83kg/h	
ガス消費量(kcal/h)	同時使用	13A:40,000kcal/h, 6C:38,000kcal/h	3.3kg/h	
	出湯能力(ℓ/min)	25℃	16	
(ガス消費量最大)	上昇温度	40℃	10	
		50℃	8	
	温度調節	風呂コントローラ	温度設定可変型	
		メインコントローラ	温度設定可変型	
	追いだし側		温度設定可変型	
点火方式	AC100V連続放電式(ダイレクト着火)			
最低作動水圧(kg/cm ²)	0.2			
材質	本体外装/塗装	溶融亜鉛メッキ鋼板/溶融珐瑯塗装		
	排気部/給気部	ステンレス鋼板/溶融亜鉛メッキ鋼板		
	熱交換器/バーナ	給湯:脱酸銅、ふる:ステンレス鋼板/ステンレス鋼板		
接続	ガス	20A (R3/4) オネジ		
	給水・給湯	15A (R1/2) オネジ		
	循環パイプ	φ45×2		
電気関係	電源	AC100V (60Hz)		
	コントローラ側	24V以下		
	消費電力	無負荷時	12W	
		同時使用	172W	
凍結予防時		118W		
電源コード	VCT (2芯) 2.0m			
安全装置	給湯側流水検知(流量センサー)	過熱防止装置(温度ヒューズ)		
	立消え安全装置(フレームロッド方式)	給湯側送風検知装置(風圧スイッチ)		
	残火安全装置(バイメタル式)	ふる送風検知装置(風圧スイッチ)		
	ふる真空だき安全装置(バイメタル式)	給湯側逆流防止安全装置(スプリング式)		
	給湯側凍結予防装置(電気ヒーター)	誘導保護装置(サージアブソーバー)		
	漏電安全装置(漏電リレー)			
日水協器可登録番号	L-809			

- 出湯能力は計算値です。
- ガス:JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき

保管とアフターサービス

■長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
- (1)ガスの元せいを閉じる。
- (2)給水元せいを閉じる。
- (3)電源プラグを抜く。
- (4)器具の水抜きを行なう。(水抜き方法は30ページを参照してください。)

■アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- ①まず「故障かな?と思つたら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。
- ②アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
 1. ご住所・お名前・電話番号・道順(付近の目印等)
 2. 品名……31-045型(右のようなラベルを器具の左側面下部に貼付けてあります)
 3. 現象……できるだけ詳しく
 4. 訪問ご希望日

(N)31-045

大阪ガス株式会社 07

転居される場合

- ガスの種類には、都市ガスとLPGガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

- このガス風呂釜には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、ガス風呂釜の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。

補修用性能部品の最低保有期間について

- 補修用性能部品(難能維持のために必要な部品)の最低保有期間は製造打切後10年です。その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。